令和６年度　学校運営連絡協議会実施報告書

１　組織

（１）都立光丘高等学校　学校運営連絡協議会（全日制課程）

（２）事務局の構成　保健総務部主任＝事務局長、保健総務部員１名　計２名

（３）内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、主幹教諭（生活指導担当）、進路指導部主任、保健総務部主任　計７名

（４）協議委員の構成

ＰＴＡ会長、ＰＴＡ副会長、練馬区立豊渓中学校長、練馬区教育委員会教育指導課指導主事、光が丘第一自治会会長、練馬明るい社会づくりの会理事、練馬区青少年育成第六地区委員会副会長、警視庁光が丘警察署生活安全課少年第１係スクールサポーター、都立光丘高等学校同窓会副会長　計９名

２　令和６年度学校運営連絡協議会の概要

（１）学校運営連絡協議会（第１～３回）の開催日時、出席者、内容、その他

第１回　令和６年５月１７日（金）内部委員７名、協議委員９名

協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出

学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題

本校の現状と課題等説明、意見交換

第２回　令和６年１０月１７日（木）内部委員６名、協議委員８名

授業公開、これまでの教育活動に関する報告

協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議

第３回　令和７年３月５日（水）内部委員７名、協議委員９名

協議学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議

次年度に向けた方向性の確認

（２）評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第１回　令和６年１０月１７日（木）内部委員２名、協議委員１名

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

第２回　令和７年３月５日（水）内部委員２名、協議委員１名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

３　学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（１）学校評価の観点

「授業満足度」、「進路満足度」、「部活満足度」、「行事満足度」、「施設設備や外部対応」、「ライフ・ワーク・バランスの推進」の観点で実施する。

（２）アンケート調査の実施時期・対象・規模

・１２月　全校生徒　　対象：５９６人　回収：５４７人　紙
・１月　　保護者全員　　対象：５９２人　回収：１７０人　フォームズ
・２月　　地域・住民　　対象：　５５人　回収：　１０人　紙
・２月　　教職員　　対象：　５３人　回収：　４９人　フォームズ

（３）主な評価項目

・学校教育目標の理解、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、広報活動、健康・安全、施設・設備 外部対応、ライフ・ワーク・バランスの推進、学校満足度

（４）評価結果の概要　（校長や学校全般への意見・提言内容）

・約８割の生徒は本校の教員の授業について満足しているが、教科・科目によっては必ずしも満足していない。
・進路指導は、保護者の満足度が昨年度よりも下がった。教職員のきめ細かな対応について肯定意見が高くなっている。
・部活動の満足度については全体的に下がっている。新型コロナウイルス感染症の対策等でこれまで自粛してきた影響がでているものだと考えられる。
・行事満足度については、生徒、保護者、教職員共に低下している。文化祭を一般公開としなかった影響が出ていると考えられる。
・生徒、保護者、教職員の学校満足度が低下している。しかし、生徒の学校満足度は、２年の時に一旦は下がるものの、３年生で再び、上昇する傾向が見られる。
・施設の不備、修繕対応は昨年度と比べ、生徒、教職員の評価に上昇がみられた。

・教員を対象にした、「ライフ・ワーク・バランスの推進」の項目について、会議資料の電子化なども対応もあり、昨年度と変わらず推移している。

表１　学校評価アンケートの肯定回答の割合

観点	項目	生徒（%）					保護者（%）			教職員（%）		
		学年	令４	令５	令６		令４	令５	令６	令４	令５	令６
授業満足度	学校は基礎学力及び発展的な学力が身に付くように努めている。	１年	85	82	82	79→	79	77	77→	98	88	82↗
		２年	84	73	79							
		３年	82	82	76							
進路満足度	先生は進路に関する相談にきめ細かく対応してくれている。	１年	80	84	79	81→	69	77	70↘	95	95	98↗
		２年	75	79	80							
		３年	86	82	85							
部活満足度	本校では部活動の活性化に向け、積極的に教職員が取り組んでいる。	１年	75	80	78	77↗	78	76	75↘	78	74	79↗
		２年	69	67	76							
		３年	82	67	76							
行事満足度	生徒は学校行事に積極的に参加している。	１年	91	86	81	80↘	89	88	83↘	85	79	76↘
		２年	85	82	78							
		３年	87	84	81							
学校満足度	学校は全体的に考えて満足できる。	１年	57	61	54	61↘	75	78	73↘	88	84	78↘
		２年	51	51	65							
		３年	73	59	65							
施設設備・外部対応	施設設備の不備なところはすぐに対応し修繕している。	１年	58	64	61	64↗	73	78	69↘	78	65	80↗
		２年	54	54	66							
		３年	67	65	66							
ライフ・ワーク・バランスの推進	各種会議の上限時間を設け、教職員の在校時間の縮減を図っている。	―	―	―	―	―	―	―	―	60	63	63→

表２　近隣住民による学校評価アンケート肯定回答の割合（%）

	項　目	令和４年度	令和５年度	令和６年度
1	本校生徒の通学マナーは守られている。	100	100	100→
2	本校生徒は礼儀正しいふるまいができている。	95	94	100↗
3	本校生徒に対する服装や頭髪指導はよくできている。	100	100	100→
4	本校は、近隣の地域の活動に協力的である。	79	76	100↗
5	本校の部活動は活発であると感じている。	100	94	100↗
6	学校からの情報（授業公開・公開講座・学校施設開放など）は、伝わっている。	60	29	75↗
7	本校は全体的に考えて満足できる。	95	88	88→

・近隣住民を対象にしたアンケートでは、肯定意見のみの項目もあった。学校からの情報は伝わっているといった項目については昨年度に比べ大幅に上昇している。

（５）評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

・学習指導は、毎時間の授業において、生徒に興味・関心を喚起させる「問い」の作成が必要である。学年が上がるにつれてのモチベーション維持やサポートが課題としてある。個々の生徒に対応した補習や休業中等における講習の充実が必要である。

・進路指導では、２年生での結果が低いことから、２年生向けの進路サポートを強化する必要がある。

・部活動は、加入率の低迷。中学時代も十分な部活動ができず、加入率が低迷している。

・行事満足度は生徒、保護者、教員共に低迷している。文化祭等の行事を一般に公開するなど、意欲をあげる工夫が必要である。

・近隣住民による学校評価アンケートをより適正な評価を行うために、今年度より、学校運営連絡協議会の協議委員に協力を要請し、地域アンケートの実施方法について改善を行った。昨年度並みの回収ができ、より精度の高いアンケート結果となった。

・施設について、老朽化する校舎等全体の修繕を TEPRO と連携して迅速に対応行っている。故障については、迅速に対応できている。

・「ライフ・ワーク・バランスの推進」に向けて、電話対応の自動化や会議資料の電子化による会議時間の短縮などの取組が少しずつ定着している。

４　学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

（１）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・アンケート結果から、学校行事等の公開を含め、検討してはどうか。

・ゴミ箱の設置について

・部活動の加入率

（２）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・近隣の住民は、本校の生活指導方針に対して理解を示してくれていることが分かった。

・地域の人材活用を一層推進するとともに情報の公開の仕方について工夫が必要である。

・より適正な評価を行うためには、協議委員に対して協力を要請し、地域アンケートの実施方法について改善すべきである。

５　学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

（１）学校運営

・全職員が互いに人材育成に積極的に取り組み、互いの能力開発に努める。

・ライフ・ワーク・バランスの取組の推進。

（２）学習指導

・教員一人一人の授業力を高めるために、生徒が主体的に活動する場面を取り入れた授業を展開する。

（３）特別活動

・部活動への参加を奨励し、文化活動や体育活動をとおして、生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎を培う。

（４）生活指導

・時間の順守（遅刻防止）、身だしなみ、挨拶の励行を指導の重点とし、生活指導部と学年が協力し、効果的な指導を図る。

（５）進路指導

・早い学年段階から進路意識を高める工夫を取入れ、高い目標を持たせる。

（６）健康・安全

・心と体の健康を守り、安心して学校生活を送ることのできる環境をつくる。

６　「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

（１）協議委員人数　９人

（２）学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
7	2					

７　職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】職員会議　０回　延０人　　企画調整会議　０回　延０人

８　その他

・生徒のアンケートの回答精度の更なる向上のために、フォームズを使った回答へ移行させる。